

2008 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 もてぎスーパーバイクレース

2008 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP ROUND1

MOTEGI SUPERBIKE RACE

2008 予選 4/5 SAT. 決勝 6 SUN.

ツインリンクもてぎ ロードコース 1周 4,801.379m

- 大会名称 : 2008 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 もてぎスーパーバイクレース
- 開催クラス : JSB1000 / ST600 / GP250 / GP125 / GP-MONO
- 主催 : 株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ / エム・オー・スポーツクラブ(M. O. S. C.)
- 公認 : 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 後援 : 文部科学省 / 茂木町

いよいよシーズンイン!! 全日本ロードレースは今年もツインリンクもてぎで幕を開ける!!



5クラス同日開催の全日本ロードレース。その頂点クラスはJSB1000

約5ヶ月半のオフシーズンを終え、4月5日(土/予選)~6日(日/決勝)ツインリンクもてぎで2008 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズが幕を開ける。

ツインリンクもてぎで開幕戦が行われるのは2006年以来3年連続となるが、今年は、このツインリンクもてぎ戦を皮切りに9月7日(日)に鈴鹿サーキットで開催されるシリーズ第5戦、そして10月5日(日)のシリーズ最終戦・岡山国際まで、全6戦が組まれている。

このMFJ 全日本ロードレース選手権は、市販4ストロークマシンをベースにし、Honda、ヤマハ、スズキ、カワサキの国内4メーカーのマシンが登場するJSB1000とST600、Hondaとヤマハの市販2ストロークレーサーによるGP250とGP125、さらに4ストローク単気筒250ccエンジンをベースにしたGP-MONOの5クラスが同日開催される。

凄絶バトル必至!! 新時代JSB1000の“役者”充実!!



安田毅史

その最高峰クラスに位置づけられているJSB1000では、昨年のチャンピオン渡辺篤がイギリススーパーバイク(BSB)にフル参戦することからゼッケン1が不在となる。これにより、昨年ランキング2位の安田毅史がトップランカーとしてのエントリーとなるが、ランキング3位の酒井大作とともに、昨年はJSB1000参戦1年目。まさに新時代突入を思わせるものだが、安田は2005~2006年に全日本ST600でV2チャンピオンを獲得、一方の酒井はSRS-J(鈴鹿サーキットレーシングスクールジュニア)の一期生としても知られるライダーで、その才能が頂点クラスで開花した形だ。

さて、チャンピオン渡辺と同じく年間2勝の最多勝をマークしたのがランキング4位のの中須賀克行だ。中須賀は2005年から全日本JSB1000に参戦し、2006年からヤマハのトップチームに移籍。そしてここから急成長を遂げており、今年の注目ライダーの一人。また、昨年はケガにより不本意なシーズンとなった絶対王者の伊藤真一も盤石な体制で2008年シーズンに挑む。そして昨年から

全日本ロードレースに復帰したHondaワークスのTeam HRCの動向にも注目が集まっている。この他、カワサキのファイター柳川明、昨年のツインリンクもてぎのポールシッター亀谷長純、2位となった山口辰也など、好バトルに向けた“役者”が充実しているのである。



酒井大作



中須賀克行



伊藤真一



柳川明

Topics!

3月11日(火) 合同テスト開催!

大会直前の3月11日(火)、ツインリンクもてぎで合同テストが実施される。有力チームの多くが参加を予定しており、このテストで開幕戦へ向けた最終調整が行われる。

★当日は入場料のみで合同テストをご覧いただけます★

国内最高峰クラス、JSB1000の見どころはココだ!!

昨年に続いて、予選には大興奮必至の「ノックアウト方式」が採用される。これは、まず全車出走の公式予選でフルグリッド数の40台を決定する。その後、20分間の第1セッションで上位25台、15分間の第2セッションで上位12台が選出され、そして最終の第3セッションではポールポジションから12番グリッドまでが決定する。なお、最終セッションでは、エキストラタイヤの使用が認められることになった。

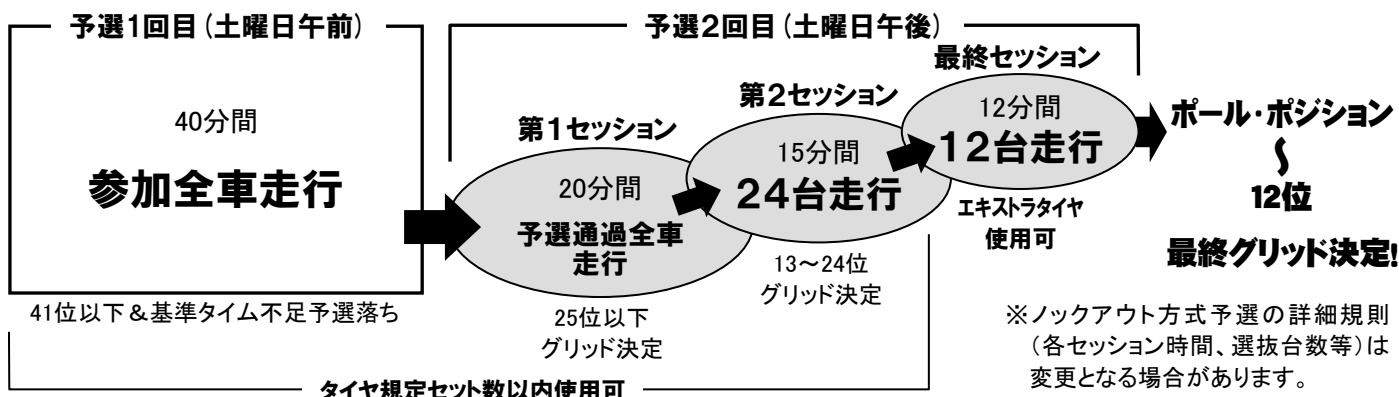
ライダーにとっては、一瞬の躊躇や作戦ミスが、思わぬポジションダウンにつながる厳しい予選方式だが、だからこそレースファンにとっては、これまでとはまったく異なる興奮が味わえるのである。

さて、ライダーの間では、ツインリンクもてぎではHondaマシンにとってストップ&ゴーの極限性能が重要となり、この点においてHondaマシンが秀でているというのだ。しかし、スーパーバイク時代の1999年からのリザルトを振り返ると、全11レース中、Hondaが5勝でスズキが4勝、そしてカワサキが2勝している。そしてこれを2003年からのJSB1000に限ると、Hondaは2004年の井筒仁康の1勝のみで、スズキが3勝、カワサキ1勝となる。そう、データ上ではスズキが断然有利なのだ。



果たしてこのデータが今年も活かされる結果となるのかどうか。まずはスズキのトップチームであるヨシムラの動向に注目だ!!

■ノックアウト方式予選



ST600、GP250、GP125、GP-MONO 各クラスも見どころ満載だ!!



ST600チャンピオン
小西良輝

JSB1000の弟分的存在のST600は、国内4メーカーのマシンが揃う激戦区だ。昨年は、ベテラン小西良輝が2005年に続いて2度目のチャンピオンを獲得。しかし、最終戦を迎えた段階で高橋英倫らが小西にポイント僅差の逆転可能な状態で続いていた。そしてこうした勢力均衡状態は今年も続くことが予想されており、誰が開幕戦ツインリンクもてぎを制してスタートダッシュをかけるかが最大のポイントだ。

元世界GPライダー宇井陽一が昨年のチャンピオンを獲得したGP250。昨年はGP125とダブルエントリーした富沢祥也が、今年はGP250専念を表明して早くもタイトル獲りに意欲を示している。ここ数年、このクラスでは特定ライダーの独走が続いていたが、今年は、誰が主役の座に君臨するのかが注目される。そして、その答えが開幕戦ツインリンクもてぎで導き出されると言っている。

昨年、岩田裕臣が初めてのチャンピオンに輝いたGP125。一方で、富沢祥也(17歳)、渡辺一馬(17歳)、篠崎佐助(14歳)、矢作雄馬(17歳)、日浦大治朗(13歳)といったティーンズ・ライダーの活躍が目立つシーズンでもあった。そして今年、14歳の山田誓己(セナ)が全日本にデビューすることから、今年も、次代を担う若手ライダーに注目だ。また、このクラスには、GP-MONOマシンのモデファイとも言うべきプロト1および2が初登場し、混走となる。そしてベテラン仲城英幸が早くもこの新カテゴリーに参戦を表明し、意欲満々だ。

今年で開催3年目を迎えるGP-MONO。年々その内容は充実が図られており、主要レーシングショップからベースマシンも出そろった感がある。このため、今年さらなる激戦が必至の状態だ。

栃木出身のライダーを要チェック!! 地元の利を活かした戦法に注目!!

昨年のJSB1000でランキング2位となった安田毅史、すでに日本GPやヨーロッパでの世界GP参戦経験を持つGP125の高校生ライダー渡辺一馬、そして昨年のもてぎロードレース選手権と筑波ロードレース選手権のGP125チャンピオンで今年から全日本GP125にエントリーする山田誓己が栃木出身で、ツインリンクもてぎをホームコースとするライダーだ。

ツインリンクもてぎのロードコースは、低・中・高速の全14コーナー(右8・左6)で構成される1周4.801379kmのコース。独特のV字コーナーをはじめ、最高速度が記録されるダウンヒルストレート、そしてそこから90°コーナー、さらに最大高低差30.4mと、戦略性に富んだコースとして知られている。また、コース幅が12~15mと広く、これはパッシングポイントの多彩さにつながっているが、安田毅史、渡辺一馬、山田誓己が地元の利を活かしてどのような戦いを見せるのかに注目したい。

もてぎスーパーバイクレース イベント情報！

MotoGPチケット先行予約受付

4月5日(土)・6日(日)限定で、2008年9月26日(金)～28日(日)にツインリンクもてぎロードコースで開催されるMotoGP日本グランプリのチケット先行予約販売を実施。

■日時: 4月5日(土)6日(日) 8:00～

■場所: 中央エントランス特設ブース

スーパーバイクオーナーズミーティング

市販車をベースにするJSB1000クラスのマシン。ベースマシンとなる各メーカーのスーパーバイクを所有するオーナーを対象にしたミーティングを開催。クラブ単位、個人・タンデムでの参加ができます。魅力的な特典も多数用意！ぜひご参加ください。

- 内容
- 特典①: 全日本ロードレース観戦
 - 特典②: サーキットクルージング(昼インターバルにロードコース1周)
 - 特典③: オーナーズクラブ専用パーキング(スーパースピードウェイ上)
 - 特典④: 2008MotoGP日本GPプログラムに集合写真を掲載
※写真はバイクメーカーごとのライダー全員集合写真となります

■日時 2008年4月6日(日) 8:00～16:00

■対象 Honda CBR ヤマハYZF スズキGSX カワサキZX-Rのオーナー
年式・排気量は不問 クラブ・個人での申し込み

■申込 ツインリンクもてぎ チケットセンター ☎0285-64-0080
MOBILITY STATION <http://mls.mobilityland.co.jp/>

■募集期間 2008年2月16日(土)～3月30日(日)

■料金 前売観戦券(2日間有効)大人:3,500円 スーパースピードウェイ駐車、ロードコース体験走行料金含む

ステージイベント

4月5日(土)・6日(日)両日、特設ステージでは「ライダートークショー」「キャンギャルオンステージ」「コチラクイズ大会」など魅力的なイベントを多数開催予定！

Topics!

新シートが全日本ロードレースから登場!!

ツインリンクもてぎで人気の高いバックストレートから90度コーナーにかけてのコースイン側に、約1700席の座席を新たに設け、自由席としてお楽しみいただけます。既存の90度コーナースタンド(Z席)とはコースを挟んで向かい合う形になり、熱い応援合戦が繰り広げられることになりそうです。

2月16日(土) チケット販売開始

ファミリーチケットにはお得な特典付!!

前売観戦券 (税込) 2日間有効			
大人 (高校生以上)	オーナーズ ミーティング	子ども (3歳～中学生)	ファミリー (大人2名+子ども2名+駐車券1台分)
3,200円	3,500円	700円	7,400円

当日観戦券 (税込)		
	大人(高校生以上)	子ども(3歳～中学生)
4月5日(土)	2,000円	700円
4月6日(日)	4,000円	(2日間有効)

※前売観戦券の販売期間は4月4日(金)までとなります。

※オーナーズミーティングの販売期間は3月30日(日)までとなります。

※ファミリーチケット購入者は限定ツアーの抽選会に参加できます。

A賞:ロードコースバスツアー/B賞:キッズピットツアー それぞれ4月6日(日)決勝日に5組20名を予定。

★詳細はホームページをご参照ください。

VIPスイート (税込) 2日間有効・観戦券込	
大人(高校生以上)	子ども(3歳~中学生)
18,000円	13,000円
■VIPスイート特典 ・パドックパス(2日間有効) ・ピットウォーク(2日間有効) ・グリッドウォーク ・記念品、公式プログラム ・指定駐車券 ・決勝日のみVIPスイートでのお食事、フリードリンク(11:00~13:00 はアルコール含)付き	

※グリッドウォークは大人券のみとなり、JSB1000クラスに限りご参加
 いただくことが可能です。
 ※販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター(電話・窓口)及び
 MOBILITY STATIONのみとなります。
 ※80枚の限定販売となりますので、完売になり次第、販売を終了させ
 ていただきます。
 ※販売期間は3月30日(日)までとなります。

パドックパス (税込) 別途観戦券必要・2日間有効
3,000円

※パドックパスの販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター
 (窓口・電話)及びMOBILITY STATION、チケットぴあ、ローソン
 チケット、CNプレイガイド、e+(イープラス)およびコンビニエンス
 ストアとなります。
 ※別途観戦券が必要です。
 ※2,000枚の限定販売となります。また、前売で完売の場合、当日券
 の販売はいたしません。

前売駐車券 (税込) 2日間有効		
4輪・バス	2輪	コースサイド
1,000円	無料★	3,000円

当日駐車券 (税込)			
	4輪・バス	2輪	コースサイド
4月5日(土)	2,000円	500円	4,000円
4月6日(日)	2,000円	500円	

★前売観戦券をお持ちの方は、2輪の駐車料は無料となります。
 ※前売駐車券の販売期間は4月4日(金)までとなります。
 ※コースサイド駐車券の販売窓口は、ツインリンクもてぎチケットセ
 ンター(窓口・電話)及びMOBILITY STATIONのみとなります。
 ※コースサイド駐車券にて、ロードコース外周(S字~V字~ヘアピ
 ン手前)脇のコースサイド駐車場に駐車出来ます。
 ※コースサイド駐車場は観戦エリア内となるため、別途観戦券が必
 要です。
 ※前売4輪駐車券をお持ちのお客様は、当日、差額にてコースサイ
 ド駐車券に変更できます。
 ※コースサイド駐車券は前売券が完売となった場合、当日券の販
 売はいたしません。
 ※コースサイド駐車場は観戦エリア内のため夜間の留め置きは出
 来ません。ステイエリアはP32となります。

ピットウォーク券 (税込) 別途観戦券必要	
4月5日(土)	1,000円
4月6日(日)	1,000円

※ピットウォークの販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター
 (窓口・電話)及びMOBILITY STATIONのみとなります。
 ※別途観戦券が必要です。
 ※各日1,500枚の限定販売となります。また、前売で完売の場
 合、当日券の販売はいたしません。

チケットのお求めは	
■ツインリンクもてぎチケットセンター 窓口販売	2月16日(土)10:00~4月4日(金)17:30まで 営業時間 2月・3月:10:00~16:30 4月:平日 9:30~17:00 / 土日祝 9:30~17:30
■ツインリンクもてぎチケットセンター 電話販売 ☎0285-64-0080	2月16日(土)10:00~3月30日(日)17:30まで 営業時間 2月・3月:10:00~16:30 4月:平日 9:30~17:00 / 土日祝 9:30~17:30
■MOBILITY STATION (オンラインショップ) http://mls.mobilityland.co.jp/	2月16日(土)10:00~3月31日(月)9:00まで(24時間受付) (※2月10日からの公開となります。)
●チケットぴあ ●ローソンチケット ●e+(イープラス) ●CNプレイガイド ●ホンダウエルカムプラザ青山 ●ショッピングセンターもぴあ ●道の駅もてぎ もてぎプラザ ●鈴鹿サーキットレースチケットセンター ●セブンイレブン ●ファミリーマート ●ローソン ●サークルK ●サンクス ●am/pm ●セーブオン ※下記のコンビニエンスストアでは、一部取り扱いのない店舗がございます。 [am/pm、セーブオン]	

■チケットに関するお問い合わせは... ツインリンクもてぎチケットセンター ☎0285-64-0080
 なお、詳細はホームページ(<http://www.twinring.jp/>)をご覧ください。